



# ひまわり



桶川市青少年健全育成市民会議

第 37 号

平成26年1月1日(年1回発行)

発行 桶川市青少年健全育成市民会議

編集 青少年健全育成市民会議

広報発行委員会

事務局 桶川市教育委員会生涯学習スポーツ課

☎728-4111

✉shogai@city.okogawa.lg.jp



## 子ども・青少年の健やかな成長を支える 家庭・学校・地域の教育力

～未来に向かって無限の可能性の開花をめざして～

武蔵大学名誉教授 黒澤 英典さん 講演



「学ぶことは心に誠実を刻むこと、教えることは共に希望を語ること」……講演は黒澤先生が二十歳の時に出会い、五十年来大切にしているルイ・アラゴン(※1)の言葉から始まりました。子どもは無限の可能性を秘めた存在であり、教育はその開花を目指して行われるべきもので、そのためには家庭と地域と学校が手を携えて子ども達を育てていく必要があると述べられました。

### 学ぶことは心に誠実を刻むこと 教えることは共に希望を語ること

特に地域の教育力は子どもの心の成長と発達に大きな影響を与えます。地域の風土の中で伝統文化や大人たちとかかわり、たくさん経験をしていきます。子ども達の心の成長には、豊かな経験が不可欠であり、生活体験や自然体験が豊富な子ども、家庭でお手伝いをする子どもほど、道徳感、正義感身に付きまします。また、そのような子どもは他者に必要とされていると感じ、生の充実を感じるそうです。

練馬区・小鹿野町・白岡市の、地域で子育てをする街づくりの事例を紹介してくださいました。結びに、大人から子ども達への贈り物は「自立心・向上心・思いやりの心」であり、それを育むための社会を構築しましょうと呼びかけました。そして講演に先立って朗読発表が行われた「私たちの主張」作文コンクールの優秀作品がどれも素晴らしいと、子ども達に豊かな感性が育っていることを絶賛し、「このような素晴らしい子ども達を育てていく街を作ってください」と励ましてくださいました。そして私たち大人に、サミュエル・ウルマン(※2)の「青春の詩」という詩を贈ってくださいました。

講演後、謝辞を述べた運営委員の「今日先生から重い宿題をいただいた。この桶川で健やかな子ども達を育むために、何をしたらいいか、各々の活動の中で考えていかなければならない」の言葉は、講演を聞いた人すべての胸の中にある思いだったと思います。

(江)

改めて考えることの多い大会となりました。

(原)

平成二十五年十一月二十四日

(日) さいたま文学館大ホールにおいて、「第二十六回桶川市青少年健全育成市民大会」が開催されました。



第二十六回  
桶川市青少年健全育成市民大会

(※1) ルイ・アラゴン (1897～1982) …フランスの詩人。この言葉は詩集「フランスの起床ラッパ」に収められ、「ストラトブル大学のうた」の一節。  
(※2) サミュエル・ウルマン (1840～1924) …アメリカの詩人・実業家。自費出版した詩集の中に「青春の詩」が収められている。

# 平成二十五年 桶川市青少年健全育成市民会議総会

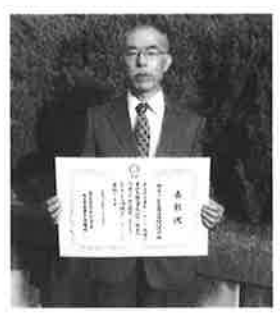
五月十八日(土)、桶川東公民館大ホールにて、総会が行われました。

総会後は、「スマホ時代の子育てのありかた」親の責任と子どもの考える力」と題して、合同会社ロジカルキック代表の下田太一さんに、講演をしていただきました。講演の中で、便利さの先にある危険など情報化社会に生きる子どもの課題と大人の責任・役割についてお話しいただきました。(家)



## 青少年育成埼玉県民会議会長より表彰

十一月二十六日(火)、平成二十五年青少年育成埼玉県民会議の表彰式が、さいたま商工会議所会館で開催され、桶川市子ども会育成連絡協議会(湯浅哲朗会長)が青少年育成功労賞(団体)を受賞し、県民会議会長から表彰されました。



## 「家庭の日」ポスターコンクールで入選

埼玉県・埼玉県教育委員会・青少年育成埼玉県民会議が主催する平成二十五年「家庭の日」ポスターコンクールが行われ、川田谷小学校六年の深谷晏里さんが、小学生の部で入選されました。

## 青少年育成功労賞表彰

- |               |         |
|---------------|---------|
| 桶川サッカースポーツ少年団 | 大縫 勝    |
| 桶川市柔道友好会      | 田中 克美   |
| 鴻巣地区保護司会桶川支部  | 新井 洋臣   |
| 桶川地区更正保護女性会   | 白石 由美子  |
| 桶川カデナルスポーツ少年団 | 端名 和志   |
| 桶川子ども会育成連絡協議会 | 眞水 和代   |
| ガールスカウト埼玉第47団 | 一ノ渡 美保子 |
| 桶川市青少年相談員協議会  | 大久保 和寿  |



## 善行賞表彰

埼玉県立桶川西高等学校 女子バスケットボール部  
二月十六日(土)、桶川駅前、アフリカの子ども達に蚊帳を送るための募金活動や献血への呼びかけを行うなど、青少年の模範となる活動を行いました。



## 「家庭の日」ポスターコンクール



### 優秀賞

家族でキャンプ  
桶川小学校五年 加茂 礼慈

### 家庭の日

桶川小学校六年 原 望

### 笑顔あふれる家族!

桶川小学校六年 三谷 芽生

### 家族の絆

桶川西中学校一年 三村 莉杏

### 家族の願い

桶川中学校二年 足立実菜子

### おじいちゃんたんじょうび

桶川西中学校三年 矢澤 真友

### 優良賞

みんな笑顔!!

桶川小学校六年 渡部 未流

### 広がるつながる家族の輪

桶川小学校六年 及川 萌々

### 鳥の子育て

桶川東小学校六年 末廣 りさ

### 家庭の日

加納中学校一年 岩崎 結衣

### 家庭で一束

桶川西中学校一年 松本 聖菜

### 家庭の日

加納中学校二年 田頭 舞

## 「私たちの主張」作文コンクール

### 優秀賞

ぼくの宝物  
川田谷小学校四年 糸 龍貴

### 思いやりの大切さ

桶川東小学校四年 服部 美歩

### 私の主張

川田谷小学校六年 木村 亜美

### 今世界で起きていること

加納中学校一年 菱沼 野花

### あいさつ出来てますか

桶川西中学校二年 糸 ももか

### 私のアクションで世界中の人々を幸せに

加納中学校三年 須佐まな花

### 優良賞

近所のおじさんとおばさんに感謝  
桶川小学校五年 櫻井 歩夢

### 国際交流について

桶川西小学校六年 相沢 裕哉

### ホタルを見つける日

桶川東小学校五年 堀内 秀翔

### 日本の平和と世界の平和

加納中学校二年 名内 ゆず

### 憧れの職業

桶川西中学校三年 稲田 侑未

### 私を変えた心友

桶川西中学校一年 野本 莉瑠



※敬称略

# サマー キャンプ



青少年相談員主催のサマーキャンプが、八月十日(土)、十一日(日)の一泊二日で、秩父市にある浦山口キャンプ場において、四十四名の児童が参加して開催されました。

キャンプ場では、夕食のカレーとフルーツポンチを作りました。相談員のお兄さん、お姉さんのアイデアにより、カレーのトッピングやフルーツポンチのサイダーを六種類の中から指名していく『食材ドラフト会議』を行

い、各班が希望する食材を求め大いに盛り上がりました。それぞれの班で特徴のあるカレーなどが出来上がり、とても楽しい夕食作りになりました。それぞれの児童がさまざまな体験を通して、ちよつぱりたくましく成長した二日間でした。



暑い中での水遊び最高に気持ちよかった!!



# あそびっこ

あそびっこ子は、朝日小学校で毎月第三土曜日の午前中に行われています。グラウンド(雨天時は体育館)に集まった子ども達が、その日にやりたい遊びを行っており、ドッジボールやかくれんぼなど、さまざまな遊びを行っています。多い日は四十人ほど子どもたちが集まります。さまざまな学年の子ども達が集まることで、人との関わり方や、感情のコントロールが上手にできるようになることを目標として活動しています。

# 夏祭り 巡回指導

桶川市青少年健全育成市民会議の活動の一つに、夏祭り巡回指導があります。巡回指導員は市内の小・中学校PTA役員で構成されており、月に二回、各学校の通学区の子ども達の様子を見たりなどの巡回活動を行っています。

桶川の祇園祭が行われた七月十五日(月)、十六日(火)には、夏祭り巡回指導を行いました。人通りの少ない路地などを巡回しましたが大きなトラブルもなく、顔見知りの子ども達に声をかけを行うなどしました。地道な活動ですが、子ども達の安全を守るためと笑顔を励みにがんばっています。

# 親子ふれあいウォーク 雨天のため中止に

今回の親子ふれあいウォークは、加納地区は十月五日(土)、川田谷地区は十月二十六日(土)を予定していましたが、両日共雨で中止になりました。今年の台風は関東地方にも大きな影響を与えていきました。(山)

# 非行防止キャンペーン

7月8日(月)、夕方6時から7時まで桶川駅周辺で当市民会議構成団体、上尾警察署、桶川市などが参加して、市民に青少年の非行防止を呼びかけました。(知)



11月3日(日)、快晴の中、各関係団体協力のもと、市民まつり非行防止キャンペーンが実施されました。今回から桶川市青少年健全育成市民会議の拠点桶川小学校の校庭に移り、そこから中山道に向かい、リーフレットと風船を手渡ししながら、青少年の非行防止を訴えました。(吉)



# おげがわ春のふれあいフェスタ

五月十二日(日)、駅西口公園と桶川市民ホールにて、天沼実行委員長のもと、構成団体の皆様と会議を重ねてまいりました。おげがわ春のふれあいフェスタも四回目を迎え、お蔭様で無事開催することができました。

まぶしい日差しの下で、模擬店のかき氷が完売する程、暑い暑い夏日となりました。行政のご協力をいただきました。今回から桶川市民ホールにおいてバンド演奏に始まりキッズダンス、そして市内各中学校や高校生による吹奏楽の演奏を、大勢の観客の皆様と一緒に楽しく鑑賞することができました。今回も一



万人以上の参加者で会場一杯大盛況でした。年々、進化し続ける春のふれあいフェスタ。次回その季節を迎えるのが楽しみです。(渋)

# 「家庭の日」ポスターコンクール 優秀賞作品



桶川小学校 5年 加茂 礼慈  
「家族でキャンプ」



桶川小学校 6年 三谷 芽生  
「笑顔あふれる家族！」



桶川小学校 6年 原 望  
「家庭の日」



桶川中学校 2年 足立 実菜子  
「家族の願い」



桶川西中学校 1年 三村 莉杏  
「家族の絆」



桶川西中学校 3年 矢澤 真友  
「おじいちゃんのたんじょうび」

「家庭の日」ポスターコンクールでは、市内小・中学校の児童・生徒から374点の応募がありました。厳選の結果、入選者12人が決定されました。その中から優秀賞を受賞されました児童・生徒の作品6点を紹介します。(敬称略)

## ひまわりの

## つぶやき



が読んでくださっているのかなあといつも考えています。一年に一回の発行誌の内容に試行錯誤しながら続けています。  
(知)

★親子ふれあいウオーク(川田谷地区)の記事を書くはずが、台風直撃で前日に中止が決定。とても残念。来年こそ歩きたいな。  
(山)

★スマートフォンを使いこなしたい。自分で使うのは電話・メール・写真ぐらい。できる事がたくさんあるのにめんどくさがっていたら、子どもの方がくわしくなっていた。こころでしっかり勉強しなおさなくちゃ、たいへんな事になる！  
(原)

★ひまわりの編集にかかわって六年がたちました。この間、子ども達が直面している問題などを記事としてとりあげてきましたが、どれ位の方

★ひまわりの編集に関わらせて頂き、早や六年、地域で子ども達を育てる大切さを痛感しています。子ども達、みんな健やかに育て！  
(吉)

★子育ての問題の解決方法について話し合うと、必ず一つの解決方法につきあたる。それは、子どもと話し合うこと。子どもと向き合う気持ちがあれば、たいてい問題は起こらない。でも、これがけっこう難しい。  
(江)

★「ひまわり」の編集に関わり、子ども達が多くの方に支えられているなと感じました。今後とも「桶川の宝の子ども達」をよろしくお願ひします。  
(家)

## 編集後記

青少年健全育成とはいふものの、私たち大人は、子どもの現状についていけるのでしょうか？情報社会の進化の早さや広がり、今までの常識や経験ではなかなかついていきません。いろいろな行事がマンネ

リ化といわれるのも、大人の意識が変わらないと、子どものための行事も新しいものが取り入れられないためなのではないでしょうか？  
それでも、子ども達の未来のために少しでも役立てるならと、微力ながらも大人としてがんばっていくかなのです。  
(加)